

平成30年度  
事業実施報告書

新潟市南区社会福祉協議会

# 新潟市南区社会福祉協議会事業報告書

## 【概 要】

少子高齢化や核家族化の進行、人口の減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化や地域での孤立、複合的な多問題を抱える世帯や個人が増加している現状です。

このような中、社会福祉協議会としても、南区地域福祉アクションプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の検証を踏まえ、個別と地域の支援を一体的に進め、地域の受容力を高め、地域で誰もが安心して暮らすことのできる支えあいのまちづくりを推進してきました。

今年度、地域包括ケアシステムの構築向け、南区支え合いのしくみづくり会議とともに具体的な事業展開するための体験会や学習会を開催し、より区民への啓発活動に取り組みました。

この他に、多職種との協働・連携やボランティア活動支援、災害ボランティアセンター基礎研修など、積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

以下、事業の実施状況について次のとおり報告します。

## 【事業実施状況】

### 1. 地域福祉推進活動事業

#### (1) 地区社協活動支援

各地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

#### ○地区社会福祉協議会長・地域生活センター職員合同会議

期 日	場 所	協議内容
平成 30 年 8 月 7 日	南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について</li><li>・平成 30 年度地区社会福祉協議会交付金について</li><li>・平成 30 年度地区社会福祉協議会活動推進事業について</li><li>・南区社会福祉協議会業務依頼について</li><li>・第 12 回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について</li></ul>

#### ○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

#### (2) 地域ふれあい助成事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

#### (3) 南区地域福祉アクションプラン推進委員会

南区地域福祉アクションプラン第 2 期目（平成 27 年度～32 年度までの 6 年間）の計画を推進するため、「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の 4 分野別及び地区ごとの地域福祉活動計画の評価を開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討しました。

回	期日・会場	主な内容
1	平成 30 年 8 月 1 日 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・委員長・副委員長の選任について</li><li>・南区地域福祉アクションプランの概要について</li><li>・H29 年度南区地域福祉アクションプランの取り組みと評価</li><li>・分科会の希望調査について</li></ul>
2	平成 31 年 3 月 19 日 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 31 年度南区アクションプラン分野別計画の取り組みについて</li><li>・地区別計画の取り組みについて（各地区推進員より報告）</li><li>・分科会の希望調査の結果について</li></ul>

#### （４）地域包括ケアシステム事業

平成２８年度から受託している生活支援体制整備事業の南区第１層支え合いのしくみづくり会議（以下「協議体」という）事務局並びに支え合いのしくみづくり推進員（以下「ＳＣ」という）の配置が３年となりました。

南区における地域の一体的な生活支援・介護予防の取組みを推進していくために区内３圏域の第２層ＳＣと協働し、コミュニティ協議会や地区社会福祉協議会、地域の茶の間、サロン、老人クラブなど、関係団体等へ支え合いのしくみづくりについて説明を行いました。

また、「困ったときはお互いさま」と気軽に頼み合うことができるか、ニーズ（手助けしてほしいこと）と担い手（手助けできる人）の掘り起こしを目的に助け合いカード体験会を開催しました。区民向け体験会開催後に、地区保健推進員学習会や地域の茶の間、地区社協役員と中学生との交流、南区ボランティア・サロン交流会において実施しました。

「困りごとがあるのは自分だけではない」「自分ができることも沢山ある」「大勢の知恵で考えることができる」「話し合うことで理解が進む」などの感想が寄せられました。

そして、手助けが必要な人とで手助けができる人とが「お互いさま」と助け合いができるように活動の担い手の養成と地域での助け合いの気風を広めていくために、平成３１年１月１８日に助け合いの学校を開催しました。助け合い活動の必要性を学び、家庭内などで実際に活動する際の心構えやマナーを学びました。（８５名の受講者のうち南区の方は７１名）

学校開催後、３月２８日に受講者同士の情報交換会を開催し、ＳＯＳ（手助けしてほしいという声）情報をどうキャッチするか、この取り組みをどのように広めていくか話し合い、今後の方向について意見交換しました。

次年度より自治会で助け合い活動を始めるところ、コミ協で地域に合った取組みの検討を始める動きが出てきています。

南区の公共交通を知るために、第２層ＳＣとともに南区の区バス、まちなか循環ルート「ぐるりん号」に乗車し、利用客に感想や意見をお聴きしました。

また、これを契機に地域の茶の間等でバス講座の開催や乗車促進のＰＲに努めました。

平成２９年度に地域での支え合いや助け合いをテーマに、寸劇で広報啓発活動を行うことを目的に南区ささえあいプロジェクトの取組みで劇団を立ち上げました。

その劇団がボランティア団体として平成３０年４月から「南の純金座」と命名し、支え合いのしくみづくりの広報啓発を進めています。南区健康福祉フェア２０１８をはじめ、地域の茶の間や敬老会、研修会など地域の集まりに上演をしました。ＳＣとともに支え合いのしくみづくりの主旨に沿った活動を展開しています。

新潟市地域包括ケア推進モデルハウス「天昌堂サロン」について、火・木曜日の開設にあたり、運営者とサロンスタッフと必要に応じ、連携・協力をしました。

このほか、南区３地域包括支援センターをはじめ、みなふくねっと、南区居宅連絡会、新潟市在宅医療連携ステーション南、南区保健医療福祉のつながりを深める会などとの情報交換会や研修会、会議に参加し、ネットワークの構築に努めてまいりました。

支え合いのしくみづくりの活動をみなふくねっとホームページ内支え合いのしくみづくりコンテンツにて、活動や取組みの発信をしています。

### ○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

回	開催日	主な内容
第6回	平成31年3月26日  構成員21名 出席者17名 (欠席者4名) モデルハウス運営者 1名 事務局 3名 区役所 2名	1) 南区第1層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について 2) 平成30年度新潟市南区における生活支援体制整備事業経過報告について 3) 南区第2層支え合いのしくみづくり会議の開催報告について 4) 地域包括ケア推進モデルハウス事業「南区の茶の間 天昌堂サロン」実施状況について <b>【提案事項】</b> ○障がい者に対するアンケート結果を踏まえた今後の取組みについて

### ○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

#### 【臼井・白根北圏域】

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年 6月8日	○活動実施状況
第2回	平成30年9月7日	○講演会の開催について
第3回	平成30年11月7日	○アンケートの実施について ○ホームページの立上げについて ○南区版助け合いの学校開催について
第4回	平成31年3月15日	○アンケート実施の確認 ○畑作りを通した助け合い支え合いの取組みについて

#### 【白南・白根第一圏域】

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年12月14日	○活動の実施状況について ○社会資源について ○南区版助け合いの学校について
第2回	平成31年3月15日	○構成員より地区ごとの活動報告 ○今年度の振り返りと社会資源の取りまとめ状況について

#### 【味方・月潟圏域】

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年8月3日	○味方地区月潟地区の今後の取組みについて
第2回	平成31年3月25日	○これまでの活動の報告 ○支え合いのしくみづくり推進員の交代について

## 2. 区社協見守り・生活支援事業

### (1) 地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体で仲間づくりや多世代交流事業を実施する地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援、助成を行いました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに実施団体の情報を掲載しました。

支え合いのしくみづくりについて説明を行いながら、月1回開催が月2回開催になるように啓発を行い、南の純金座による支え合いの寸劇鑑賞を通して地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンから助け合いにつながるよう広報に努めました。

12月5日に開催のボランティア・サロン・元気力アップサポーター交流会では、地域の茶の間から支え合いが広がるよう、助け合いカードを用いて助け上手、助けられ上手を体験していただきました。

#### ○地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数					
	高齢者				子育て			高齢者				子育て	
	市助成			助成無	区社協助成	その他		市助成			助成無	区社協助成	その他
	1 タ イ プ	2 タ イ プ	週 1 タ イ プ	・ 季節開 催等				・ 不定期開 催	1 タ イ プ	2 タ イ プ	週 1 タ イ プ		
新飯田	2			1	1		鷺 巻	1			1		
茨曾根	4			1			根 岸				4		
庄 瀬	2			1			大 通	3					
小 林	4	1		1			白 根	10	1		1	1	1
臼 井	2			1		1	味 方	6			3	2	
大 郷	1			2			月 湯	4		1	1		
市助成数：1タイプ（30,000 円）／39 か所、 2タイプ（60,000 円）／2 か所 週 1タイプ（240,000 円）／1 か所 【助成金活用団体】合計 42 か所							合 計	59（58）				6（6）	

※（ ）内は前年度数

## ○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・場所	内容・参加者
ふれあい親子まつり	平成 30 年 11 月 10 日 9 時 45 分～11 ; 30 白根児童センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バルーンアート NAMARA MINA さん</li> <li>・親子あそび</li> <li>・ゲームラリー（輪投げ、お菓子取り競争、魚釣り）</li> </ul> 参加者：親子 13 組 （大人 15 人／子ども 21 人） 協 力：ボランティア（3 人）、主任児童委員（4 人）、子育て支援センターつくし園、ぴよぴよ、マリンキッズ、ふわっと（6 人）
南区ボランティア・サロン・元気力アップサポーター交流会	平成 30 年 12 月 5 日 10 時～15 時 30 分 サルナート吉運堂 5 階万葉の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成金について</li> <li>・ボランティア・市民活動について</li> <li>・助け合いカード体験グループワーク</li> </ul> 参加者：54 人 協 力：南区第 2 層支え合いのしくみづくり推進員
子育てサロン交流会	平成 31 年 2 月 25 日 10 時～正午 白根学習館 ルーム 1・2	「からだの歪みを知ろう！」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カイロプラクティック体験会</li> <li>・茶話会（情報交換）</li> </ul> 参加者：19 人（子ども 10 人・大人 9 人）
地域の茶の間・いきいきサロン助成金説明会	平成 31 年 2 月 12 日 13 時 30 分～15 時 30 分 平成 31 年 2 月 22 日 10 時～12 時 白根学習館 ルーム 1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金に係る書類について（報告書並びに申請書）</li> <li>・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン団体シートについて</li> <li>・ボランティア行事用・活動保険について</li> <li>・南区における支え合いのしくみづくりについて</li> <li>・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動で活用できる講座等について情報提供（おきがる講座、ヤクルト健康講座、白根保健生協班会、区バス講座）</li> </ul> 参加者：22 日／45 人、23 日／25 人
助成金に係る書類の書き方等相談会	平成 31 年 3 月 11 日 ～平成 31 年 3 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度事業実績報告書、収支決算書、2019 年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会</li> </ul>

## （２）おせち料理等宅配事業

12 地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への昼食会、配食サービス、友愛訪問活動（安心箱配布事業）及びおせち宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食 サービス対象者数	安心箱配付 ・訪問回数	おせち配食 世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	13	11
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員	91 (3 回配食)	30	14
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	45 (配食)	43 (友愛訪問)	39
小林地区社協	民生委員	26 (昼食会)	177 (歳末慰問)	30
臼井地区社協	地区社協、民生委員	37 (配食)	106	28
大郷地区社協	地区社協、民生委員	83 (配食) 2 回配食	217	25
鷲巻地区社協	地区社協、民生委員	94 (配食)	20	18
根岸地区社協	地区社協、民生委員	72 (昼食会・茶の間の交流 含む)	20	21
大通地区社協	地区社協、民生委員	31 (昼食会)	20	28
白根地区社協	地区社協、民生委員	387 (昼食会・配食)	—	213
味方地区社協	民生委員	—	5	53
月潟地区社協	民生委員	—	96	54
合 計		866 人 (934 人)	872 人 (1056 人)	534 食 (503 食)

※（ ）内は前年度数

### （３）コミュニティソーシャルワーク事業

関係機関と情報共有をし、連携しながら個別に支援が必要な世帯が住み慣れた地域で生活できるよう継続的に関わりました。併せて個別支援から地域での課題を見つけ、関係機関と連携し社会資源を取り入れながら、地域全体で課題解決に向けて取り組んでもらえるよう情報発信等に努めました。

なお、定例会を年 7 回開催し、支え合いのしくみづくり推進員や地域包括支援センター等から参加をいただいて、圏域毎の取組等について情報共有をしました。また、9 月 14 日には新潟医療福祉大学教授を講師に、「地域でつながる意味を考える～なんのために地域でつながるのか～」をテーマに「南区地域福祉ネットワーク会議」を開催し多職種連携の必要性を学びました。



### ○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区社会福祉協議会として、多職種との連携・協働に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について、学習会並びに講演会の開催に協力しました。

開催日	場 所	内 容
平成 30 年 9 月 1 日	サルナート吉運堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別講演 「人生の最終段階における医療・ケアの在り方について ～自分にとって最善の医療とは～ 講師:新潟県医療ソーシャルワーカー協会副会長 在宅ケアクリニック川岸町 阿部葉子さん</li> <li>・グループワーク テーマ「地域住民一人一人にとって最善の医療とは」</li> </ul>
平成 31 年 2 月 10 日	ラスペックホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護の区民公開講座 「い（生・逝）きかたは」は、自分で決める ～大人の「終活」新作法～ 講師：終活ジャーナリスト ライフターミナルネットワーク 代表 金子 稚子 氏</li> </ul>

### （４）心配ごと相談事業

毎月第２・第４水曜日に心配ごと相談所を開設。心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

相談員は、本部主催の相談員研修会に参加し研鑽されました。

[心配ごと相談所相談件数]

	H30	H29	H28
開催日数（回）	26	24	24
相談件数（件）	12	6	2

[研修会]

日時・会場	内 容	参加人数（人）
平成 30 年 9 月 6 日 市総合福祉会館	・心配ごと相談所の機能と傾聴について 事例検討・グループワーク	8
平成 30 年 12 月 7 日 市総合福祉会館	・家庭裁判所の機能・概要 脳トレ・レク	8
平成 31 年 3 月 15 日 市総合福祉会館	・人生いろいろよろず相談 Part8	9

## （５）地域貢献事業

若者から高齢者まで身体を動かし、楽しく交流することを目的としてフロアーカーリングを実施しました。

＜開催日＞ 12月8日（土）＜会場＞ 味方体育館

＜参加者数＞ 53名

## （６）生活福祉資金貸付制度の推進

高校卒業後の就職が内定している高校授業料滞納の方に、無事に高校を卒業され、自立した生活が送れるように、生活福祉資金を貸し付けました。また低迷する経済情勢を背景に収入の減少や失業等によって生活に困窮した世帯には関係機関と連携し、生活の立て直しを支援しました。

[新規貸付件数]

資金名		平成 30 年度 (件)	平成 29 年度 (件)	平成 28 年度 (件)
生活福祉資金	総合支援資金	0	0	0
	福祉資金	0	0	0
	教育支援資金	1	1	0
	不動産担保型生活資金	0	0	0
合 計		1	1	0

## ○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し権利擁護のサービスの提供に努めました。

新規契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
7（4）	17（13）	2（1）

（ ）内は前年度数値

## ○緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治・町内会長様の協力のもと配布しました。

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計（本）
新飯田	0	0	0	0	0	0	0
茨曽根	0	0	1	0	0	0	1
庄 瀬	1	0	0	0	0	0	1
小 林	4	0	0	0	0	0	4
臼 井	0	1	0	0	0	0	1
大 郷	0	0	1	0	3	0	4
鷺 巻	0	0	0	0	0	0	0
根 岸	0	0	0	0	0	0	0
大 通	3	11	1	0	0	0	16
白 根	17	2	0	0	0	0	19
味 方	3	5	1	0	1	0	9
月 湯	0	0	0	0	0	0	0
施 設	0	0	0	0	6	0	6
合 計	28	19	4	0	10	0	61

\*29 年度までの合計配布数 960 本（うち 132 本有償）

### 3. ボランティアの育成と活動支援

#### （1）ボランティア・市民活動センター事業の推進

ボランティア活動に参加したい方、ボランティアを必要とする個人・団体・福祉施設等からのボランティアに関する多様な相談に応じ、必要な情報提供や調整、ボランティア保険の加入手続き等、ボランティア・市民活動推進のための支援を行いました。また、災害ボランティアセンター検討委員会や設置訓練への連携を図るべく、南区の登録ボランティアの方々を対象に県内防災施設のバス視察を行いました。

福祉教育では、昨年に引き続き子どもだけでなく大人を対象とした座学と福祉体験を行い、社会の中で福祉教育の在り方を考える土壌を醸成しました。

#### ○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	7	2	4	11	1	1	28	1	55
所属人数	134	31	47	125	17	20	475	30	879
個人人数	5	2	0	1	0	0	3	3	14

### ○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事保険（件）
596	643

### ○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい（件）	ボランティア 欲しい（件）	情報提供 したい（件）	情報欲しい（件）	計（件）
8	30	17	45	100

### ○災害関係

平成 30 年度は「災害ボランティアセンターをより多くの方に理解してもらう」をテーマに、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長を講師に迎え、3 回の研修会を行いました。

<実施状況>

開催日	場 所	参加団体	参加者数(人)
平成 30 年 6 月 18 日	南区社協	「災害ボランティアセンター設置訓練及び研修を行う際のアドバイス」 白根 JC、日赤、南区役所総務課、健康福祉課、南区社協	9
平成 30 年 8 月 31 日	南区社協	「災害ボランティアセンターへ繋がりを考える集い」 南区防災士、ライオンズクラブ、日赤、白根 JC、五泉 JC、五泉市社協、新津 JC、にいがた北 JC、施設、南区役所総務課、健康福祉課、医療福祉大、介護職員、秋葉区社協、南区社協	44
平成 30 年 11 月 18 日	健康福祉センター	「災害発生初動から支援拠点設置まで」 歯科医、介護職員、新飯田コミ協、庄瀬コミ協、白根コミ協、茨曽根地区社協、大郷地区社協、月潟地区社協、茨曽根防災会、白根南部防災会、大通自治会、味方月潟支え合いのしくみづくり推進委、白根 JC、五泉 JC、日赤、南区役所総務課、健康福祉課	33

## （２）災害ボランティアセンター検討委員会

有事の際の災害ボランティアセンターの運営を円滑に行うために、白根 JC を中心に災害ボランティアセンター検討委員会を設置、年 6 回検討会で平成 30 年度の訓練内容の検討、研修会の方向性や反省等を行いました。

区 分	H30	H29	H28
検討委員会回数（回）	6	6	8
検討委員数（人）	10	13	11

### <実施状況>

開催日	内容	参加委員数（人）
4 月 16 日	新規メンバー顔合せ、H30 訓練内容検討	6
6 月 18 日	30 年度 訓練内容検討	5
8 月 20 日	8/31 研修会進捗、11/18 研修会方向性検討	6
10 月 22 日	8/31 研修会反省、11/18 研修会詳細検討	4
12 月 17 日	11/18 研修会反省、2019 年度委員メンバー候補	5
2 月 18 日	2019 年度 訓練方向性検討	9

## （３）ボランティア講座・交流会

ボランティア活動のきっかけとなるために、講座を開催。既存の団体の会員確保も目的とする。ボランティア同志の情報共有の場として交流会を開催しました。

区 分	H30	H29	H28
ボラ講座参加者数（人）	169	238	118
新規ボラ団体設立（団体）	0	0	0
交流会参加者数（人）	87	128	99
施設研修会参加数（人）	19	11	7

### <実施状況>

事業名	参加者数（延べ人数）
ボランティアきっかけ作り講座 傾聴講座 2 回	19
こころの健康づくり講座 2 回	104
認知症について考えよう 1 回	30
南区ボランティア視察研修 1 回	16
ボランティア・サロンお茶の間交流会	49
中学生ボランティア交流会	38
ボランティア受け入れ施設担当者研修会	19

#### (4) 福祉教育

小・中学校で各種体験学習や当事者との交流、ブラインドサッカー、高齢者施設の訪問など多岐にわたる内容で、高齢者、障がい者への理解を深める福祉教育を行いました。

また大人のための福祉教育として、災害ボランティアセンターの役割や災害時における地域の課題について考える研修を実施しました。

区 分	H30	H29	H28
福祉教育実施学校（校）	11	9	8
大人の福祉教育実施（回）	1	2	2

#### <実施状況>

対 象	内 容	回	参加者数 (延べ)
茨曾根小学校 5 年生	車イス体験、高齢者疑似体験	1	9
臼井小学校 4 年生	車イス体験	1	25
臼井小学校 3.4.5.6 年生	車イス体験	1	140
月潟小学校 4 年生	車イス体験、高齢者疑似体験	3	81
根岸小学校 6 年生	高齢者疑似体験	1	35
根岸小学校全校生	防災訓練	1	180
小林小学校 4 年生	車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験	4	120
庄瀬小学校 4 年生	車イス体験、高齢者疑似体験	1	19
新飯田小学校 4 年生	車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、障がい者交流	4	64
大通小学校 3 年生	アイマスク体験、高齢者疑似体験、ブラインドサッカー	4	308
大通小学校 4 年生	防災訓練	1	84
大鷲小学校 4 年生	車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、障がい者交流会、施設訪問	4	88
味方小学校 4 年生	車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、障がい者交流、ブラインドサッカー	6	180
白根北中学校 1 年生	アイマスク体験	2	216
堤 組(企業)	災害研修	1	20

#### ○南区ボランティア・市民活動センターだよりの発行

平成 30 年 10 月発行 700 部

平成 31 年 3 月発行 700 部

ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先に配布

## 4. 区社協広報・啓発活動事業

### (1) 南区社会福祉大会並びに健康福祉フェアの開催

南区社会福祉大会並びに南区健康福祉フェアを開催し、福祉と保健が一同に会し、相互に連携を深め、民間福祉事業、ボランティア活動並びに健康づくり活動が向上、普及するために、地域の活動団体と区民の交流、社会参加の実現を図りました。

開催日/会場	内 容
平成 30 年 10 月 6 日(土) 白根学習館 約 500 名 (約 720 名) ( ) 内は前年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バザー、介護事業所等のパネル・作品展示、健康コーナー等の開催</li> <li>・記念講演「輝いて生きる」～感謝・爆笑・夢づくり～ 講師：労働衛生医学協会 常務理事 大西金吾 様</li> <li>・第 12 回社会福祉大会 会長表彰式 味方中学生による意見発表</li> </ul>

### (2) 広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第 38 号	平成 30 年 7 月 8 日	平成 30 年度事業計画・予算、平成 29 年度事業・決算報告、社協会費納入のお願い、ボランティアグループ紹介、心配ごと相談所のお知らせ、共同募金実績報告、南区健康福祉フェアの案内、地区社協コーナーほか
区社協だよりみなみ 第 39 号	平成 30 年 9 月 23 日	南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会のお知らせ、共同募金運動について、賛助会員企業、地域の茶の間・子育てサロン MAP、ボランティア伝言板、フローアーカーリング大会のご案内（心の健康づくり講座等）、地区社協コーナーファミリーサポートセンター、心配ごと相談所の開設について
区社協だよりみなみ 第 40 号	平成 31 年 2 月 24 日	寄付御礼、南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会の報告、H30 年度ボランティア個人・団体登録募集、平成 30 年度共同募金法人募金実績報告、フローアーカーリング大会報告、地域福祉ネットワーク会議の報告、地区社協コーナー他

区ボランティア・市民 活動センターだより No.5	平成 30 年 10 月末	ボランティア団体の活動紹介、福祉教育の様子、災害ボランティア研修会の案内、お茶の交流会案内、元気力アップ・サポーター募集、ボランティアきっかけ作り講座
区ボランティア・市民 活動センターだより No.6	平成 31 年 3 月末	災害ボランティアセンター研修の様子、福祉教育の様子、厚生労働大臣賞受賞（音声訳ひばり会）、ボランティア登録のお願い

## 5. 区社協運営事業

### （１）理事会の開催状況

区 分	開催日・場所	協議題
第 1 回理事会	平成 30 年 5 月 23 日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区社協 理事の一部選任について</li> <li>・平成 29 年度 南区社協 事業実施報告について</li> <li>・平成 29 年度 南区社協 収支決算について</li> <li>・南区健康福祉フェア 2018 並びに第 12 回南区社会福祉大会について</li> </ul>
第 2 回理事会	平成 30 年 9 月 13 日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区社協 理事の一部選任について</li> <li>・南区健康福祉フェア 2018 並びに第 12 回南区社会福祉大会について</li> <li>・第 12 回南区社会福祉大会被表彰者等の選考について</li> <li>・市社協会長表彰被表彰者の推薦について</li> </ul>
第 3 回理事会	平成 31 年 3 月 12 日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度 南区社協 事業計画（案）について</li> <li>・平成 31 年度 南区社協 収支予算（案）について</li> <li>・南区社協 役員の選任について</li> </ul>

### （２）監事会の開催

区 分	開催日・場所	監査事項
監 事 会	平成 30 年 5 月 11 日 南区社会福祉協議会 1 階相談室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度南区社会福祉協議会事業実施報告について</li> <li>・平成 29 年度南区社会福祉協議会収支決算について</li> </ul>



### (3) 会員会費の納入状況(目標額：1世帯500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯田	473	473	100.0	236,500
茨曾根	412	411	99.8	205,500
庄瀬	645	640	99.2	320,000
小林	1,186	959	80.9	479,500
臼井	954	818	85.7	409,000
大郷	460	431	93.7	215,400
鷺巻	521	494	94.8	247,000
根岸	1,098	991	90.3	495,500
大通	2,220	2,119	95.5	1,059,500
白根	3,691	3,004	81.4	1,501,600
味方	1,264	990	78.3	492,900
月潟	1,146	969	84.6	484,500
合計	14,070 (14,054)	12,299 (12,070)	87.4 (85.9)	6,146,900 (6,022,240)

※( )内は前年度数値

### (4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個人 106人 82,500円 (106人 86,500円)

法人 24社 145,000円 (25社 150,000円)

## 6. 市受託事業の推進

### (1) 生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数	内容
白根健康福祉センター 2階	火～土曜日	242日	1,822人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

## （２）元氣力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により、交付金として還元するものです。当該制度が円滑に運営できるように、研修会の開催、受入施設へのコーディネートのほか、サポーター交流会を開催し、研修・交流を行ないました。

区 分	説明会		サポーター登録者数（人）	登録施設数（施設）
	開催数 （回）	参加者数 （人）		
30 年度	12	13	11（新規）	1
累 計	210	152	155	42

## 7. 共同募金事業の推進

[平成 30 年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区 分	平成 30 年度 目標額	平成 30 年度 実績額	達成率	平成 29 年度 実績額	対前年比較
共同募金	7,119,000 円	7,005,132 円	98.4%	7,012,590 円	△7,458 円
歳末募金	2,379,000 円	2,713,696 円	114.1%	2,735,462 円	△21,766 円
合 計	9,498,000 円	9,718,828 円	102.3%	9,748,052 円	△29,224 円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,744,588 円	82.0%
法人募金	809,039 円	11.5%
学校募金	228,129 円	3.3%
街頭募金	2,824 円	0.0%
職域募金	113,181 円	1.6%
イベント募金	24,797 円	0.4%
その他募金	82,574 円	1.2%
合 計	7,005,132 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,626,080 円	96.8%
職域募金	87,616 円	3.2%
その他募金	0 円	0.0%
合 計	2,713,696 円	100.0%